illiilli cisco

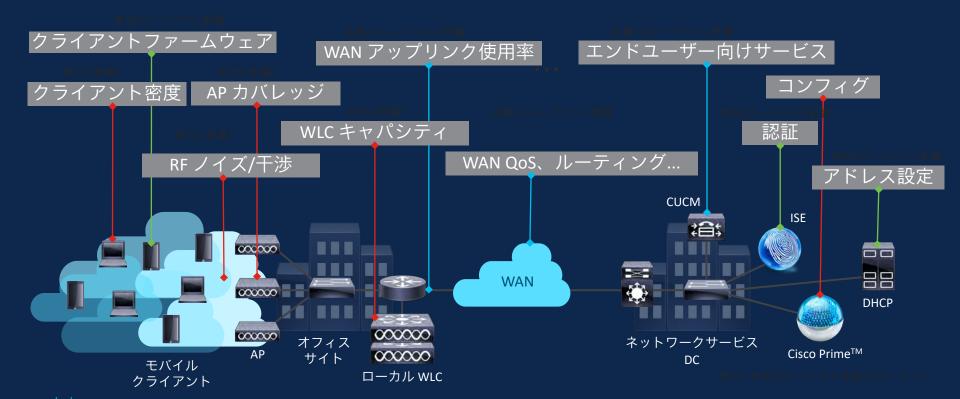
AI を活用した エンドツーエンドの アシュアランスの 実現

エンタープライズネットワーキング テクニカルソリューションアーキテクト

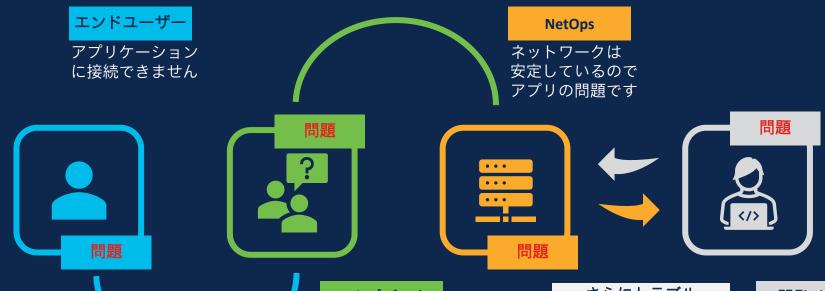
松崎 虎雄



ネットワークの問題のトラブルシューティングは 複雑。問題はいたるところに存在



従来の運用ではこの**複雑な**状況に対する効果的な 対応が困難



ヘルプデスク

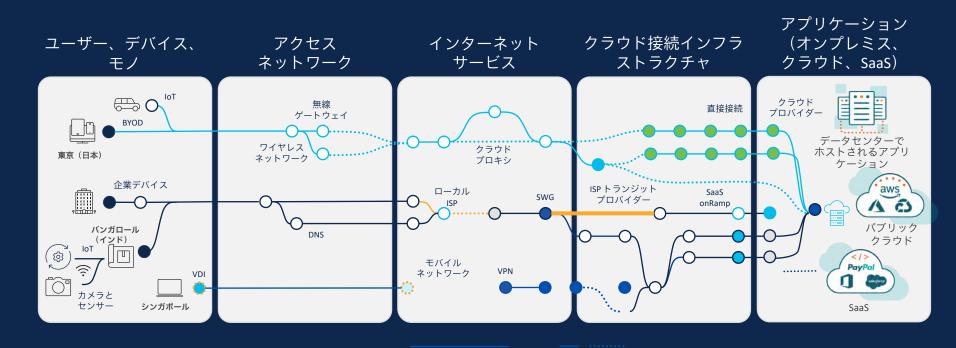
認証の問題ですか。無線の問題ですか。それともアプリケーションの問題ですか

さらにトラブル シューティングする ための情報や コンテキストが不足

開発チーム

コードは問題ありません。それ 以外は私の担当 ではありません

現在の企業ネットワークは複雑なため運用が分断



分断化された運用は非効率的で効果を得られない









この複雑さのために、分断化された運用は非効率的 で効果を得られない



必要なのはコネクテッド運用モデル



【工知能

自動化

トラフィック分析構成管理 テレメトリ

ズベント管理 機械学習

アシュアランス

アプリケーションの最適化

異常検出

機械推論

トラブルシュー ティング



AlOps と連携したスマートな NetOpsがコネクテッド 運用モデルの構築に効果的



AI **には** データが必須

cisco

は 30 年<mark>以上にわたって</mark> ネットワークのノウハウ を蓄積



シスコはよりスマートな AlOps でインサイトを アクションに直結

予測的かつプロアクティ ブなタスクの自動化 エンドツーエンドの可観 測性スタック/データ収集/ データレイク

サービスとプロセ スの連携 **メント・・・・**

ネットワーク テレメトリ 修復と自動化 データ スマート **AlOps** サービスデスク 相關 の自動化 ML/MR コンテキストに インテリジェンス 基づくインサイト による RCA

インサイト

相関、重複排除、抽出

ナレッジベース

コンテキストに応じた実用的 なインサイト、基準値設定、 タイムマシン、異常アラート

Cisco AlOps がハイブリッドワークプレイスの 変革を支援







リモート

ブランチ

キャンパス/業界

人々、場所、 モノ

ネットワーク

゙゚オンプレミス、DC アプリ/ クラウドアプリ、SaaS

チームが運用で使用する言語を共通化することで、デジタル体験 に対する確認、理解、改善をあらゆる場所で実施

広範なデータ収集

場所を問わない可視性を提供

ネットワーク、インターネット、クラウド、SaaS 全体を可視化:重要なデータと場所を通じてドメイン全体を把握

プロアクティブなインテリジェンス 問題の特定と切り分けを迅速化

予測分析と自動化された根本原因分析:ネットワーク AIOps を通じて注目すべき場所を把握

運用ワークフロー 接続されたエコシステムと連携

オープンスタンダードを採用しコンテキストに応じてコントローラと連携することにより、エコシステム全体でインテリジェンスとデータを活用

Cisco AlOps プラットフォームにより最新の IT 運用を実現







人々、場所、

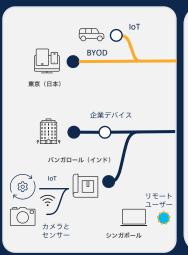
ブランチ

キャンパス/業界

゙゚オンプレミス、DC アプリ/ クラウドアプリ、SaaS

ハベ、場が、 モノ

ネットワーク



AI サービス

Umbrella エンド AI 主導 AI 主導 Cisco CX Cloud クラウドセキュリティ ポイント分析 アシュアランス RRM エンジン













管理



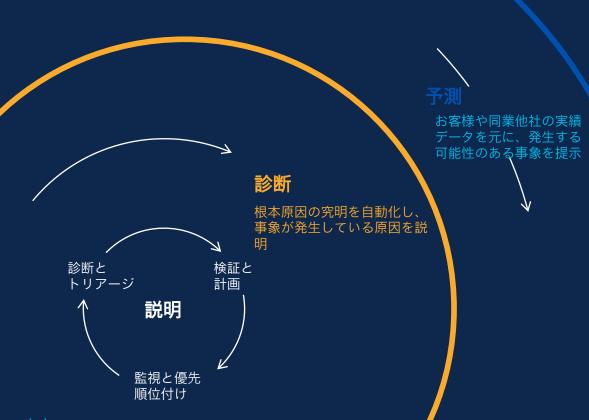


ネットワーク インフラストラクチャ





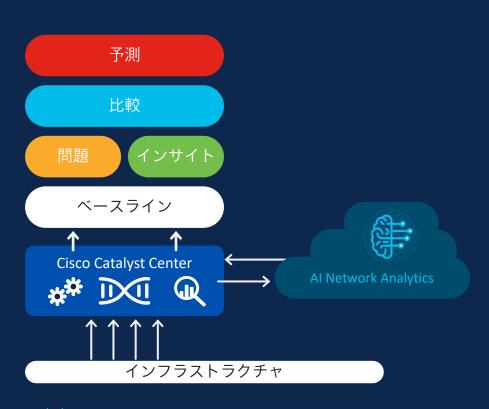
シスコはあらゆる場面で NetOps の向上を支援



規範

現在のデータと事前に定 義された将来の計画と目 標を元に、次に行うべき アクションを定義

Cisco Al Network Analytics



予測分析 障害を予測して防止

問題の防止

比較分析 内部および同業他社と KPI を比較

迅速な 問題解決

ト**レンドとインサイト** プロアクティブな調査とシステムが生成する インサイト

問題の 早期発見

パーソナライズされた異常検出 正常と異常を識別し根本原因の分析結果を提示 高度な パーソナライズ アラート

動的な基準設定 特定のネットワークに対する基準を定義 不要なノイズ の除去

シスコの強み:充実したデータ、充実した ナレッジベース

多様なデータ:

多様な

ローカルとグローバル ストリーミング テレメトリ:



Catalyst Center

上級エンジニア

Cisco AlOps:機械学習と推論のインテリジェンスを備えたプラットフォーム

ネットワークテレメトリと コンテキストデータ 複雑なイベント処理

相関性のある インサイト

推奨される 修復



AIOps によりスマートな問題解決を実現





推奨されるアクションに ついてヘルプデスクを教育 (SOP) ◆────



AI と予測アルゴリスムを使用して、可能性のある事象と バリアンスを予測





プロアクティブな調査
システムが生成する
インサイト



ユーザーが気づく 前に問題を検出

AlOps の機能 トラブルシューティング



ネットワークインサイト

トレンド偏差







Cisco Catalyst Center



- コロナ禍の間、オフィスに出勤する従業員がでくわずかだったため、IT管理者がプロビジョニングするアクセスポイントが減少
- コロナ禍後、従業員が徐々にオフィス勤務を再開
- オフィス勤務を再開する従業員が急増すると、1つのアクセスポイントに接続するクライアント数が増加し、クライアントエ・クスペリエンスが低下
- Catalyst Center のトレンド偏差 機能が、グローバルパターン (トレンド)と偏差を判定 し、システム生成のインサイトを提供
 - Cisco Al Network Analytics が、 機械学習アルゴリズムと AI 技 術を使用して、お客様に固有 のネットワーク環境に対する 正確なインサイトを提供
- 機械学習により AP のクライア ント数を数週間にわたって継続 的に分析
- Beeswarm チャートが、ネット ワーク内のクライアントデバイ スのパフォーマンスを 4 週間に わたって表示
- これにより、IT 管理者はネット ワークの効果的かつプロアク ティブな計画が可能

成果

一定期間におけるネットワーク動作の規則的な逸脱をIT管理者が特定

デモ ネットワークインサイト



AI 拡張 RRM RF カバレッジの正常性とパフォーマンスを迅速に評価



- ネットワークで行われた RRM の変更を IT 管理者が 把握する手段がない
- RF の理解と最適化には特別な専門知識が必要
- RRM を変更するには、CLI へのアクセスとデバッグ コマンドの知識が必要

- IT 管理者には RRM の変更(変 更が行われた理由と時期)の可 視化が必要
- IT 管理者にはワイヤレスベン ダーが提供する RF の変更に関 する簡素化された推奨事項が 必要
- Catalyst Center 内の RRM Control Center により、IT 部門 による RF カバレッジの正常性 とパフォーマンスの迅速な評 価が可能。企業レベルから単 ーのサイトまたは建物レベル までを網羅
- AI 拡張 RRM は、人工知能と機 械学習(AI、ML)の能力を統 合
- Cisco AI 拡張 RRM により、過去の一定期間における動的 RF データの分析が可能

成果

AI 拡張 RRM が、容易な設定、包括的な可視性、保守性の向上を実現



AI 拡張 RRM



AIOps を活用してネットワークの問題を 迅速にトラブルシューティング

問題解決のガイド付きプロセス













- ネットワークのダウンタイム中に、IT 管理者が問題の根本原因を特定するために Catalyst Center/ Meraki ダッシュボードにログイン
- シスコのフルスタックを導入 する前は、問題特定に IT 管 理者が多大な時間を消費
- ・ 問題をその根本原因と関連付 けて特定することが困難 だった
- IT 管理者が問題の正確な原因 を特定して問題を是正するに は、かなりの時間がかかる
- シスコのフルスタックを 導入することで、IT 管理 者は、30 年にわたり蓄積 されたシスコのベストプ ラクティスを活用し、問 題の考えられる根本原因 に関する提案を受けられ る
- ネットワーク管理者は Catalyst Center/Meraki ダッシュボード AlOps が推奨するガイド付きプロセスに従って数分で問題を解決。複雑な手順やチェックリストの作成は不要

成果

Catalyst Center/ Meraki ダッシュボードが シンプルで実用的なインサイトと ガイド付き修復プロセスを提供

複雑なネットワークの問題を 数分ですばやく修正 問題解決のプロセスが 自動化される



AlOps の動作

